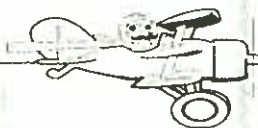


経営者のための生命保険講座 第41回

生命保険見直し術

「保険会社が破綻したら…」



うとうしい梅雨の季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？
97年4月の日産生命に始まり、今年3月の東京生命まで、実に7社もの生命保険会社が経営破綻しました。そこで今回は、破綻した生命保険会社の契約がどうなるのかについて取り上げてみたいと思います。

各会社によって破綻理由は異なりますが、主な理由は次のようなものです。

- ①バブル期に金融機関と提携して、「保険料ローン」による貯蓄性商品を積極販売した。
- ②バブル期に大手生保に追いつこうとし、急成長した中堅生命保険会社。(①とも密接に関係)
- ③不良債権処理が遅れた。
- ④バブル崩壊後、逆さやを解消しようと外債投資等を行ったが、運用に失敗した。
- ⑤経営破綻が近いという情報(噂)による解約の増加。

【各社別経営破綻処理概要表】

| 会社名 | 日産生命 | 東邦生命 | 第百生命 | 大正生命 | 千代田生命 | 協栄生命 | 東京生命 |
|------------|----------|----------|-------------|---------|------------|------------|----------|
| 破綻年月 | 1997年4月 | 1999年6月 | 2000年5月 | 2000年8月 | 2000年10月 | 2000年10月 | 2001年3月 |
| 破綻根拠 | 業務停止命令 | 業務停止命令 | 業務停止命令 | 業務停止命令 | 更正特例法 | 更正特例法 | 更正特例法 |
| 総資産 | 2兆1674億円 | 2兆8046億円 | 1兆7217億円 | 2044億円 | 3兆5019億円 | 4兆6099億円 | 1兆0150億円 |
| 債務超過額 | 3028億円 | 6500億円 | 3200億円 | 365億円 | 3119億円 | 6895億円 | 460億円 |
| 契約者数 | 約110万人 | 約160万人 | 約130万人 | 約20万人 | 約130万人 | 約280万人 | 約60万人 |
| 契約移転先 | あおぼ生命 | GEエジソン生命 | エフ・エフ・エフ生命 | あさみ生命 | AIG生命 | ソニー生命 | |
| 出資先 | アフラハ(仏) | GE社(米) | エフ・エフ・エフ(独) | 大和生命 | AIG(米) | ソニー生命(米) | 太陽・大同生命 |
| 契約移転時期 | 1997年10月 | 2000年3月 | 2001年4月 | 2001年3月 | 2001年4月(予) | 2001年4月(予) | ? |
| 保有契約平均予定利率 | — | 4.79% | 4.46% | 4.05% | 3.70% | 4.00% | 4.70% |
| 適用予定利率 | 2.75% | 1.50% | 1.00% | 1.00% | 1.50% | 1.75% | 2.60% |
| 保険金額削減率 | 0~45% | 0~80% | 0~73% | 0~71% | 0~62% | 0~60% | ? |
| 保護機構拠出額 | 2000億円※ | 3800億円 | 1450億円 | 262億円 | ゼロ | ゼロ | ゼロ |
| 責任準備金削減 | なし | 10%削減 | 10%削減 | 10%削減 | 10%削減 | 8%削減 | なし |

※日産生命は「契約者保護基金」による

※一部数値は概算値・推定値であり、実際と異なる場合があります。

今回は破綻した会社の契約について取り上げてみました。破綻した会社に参加していたお客様が、今後どうすれば良いのかは、加入時期・加入目的等によって、それぞれのケースで異なってきます。保険のことは当事務所まで、ぜひお気軽にお問い合わせください。



担当 洪木 洋子